



平成26年9月議会

## 江津駅前再生整備計画および 中心市街地活性化計画について



### 江津駅前再生整備計画の発信を

**問** 50年・100年に一度の大きな事業である江津駅前再生整備計画が広く市民の皆さんに公開されて、興味や関心を持っていただくためにも積極的に情報発信しすべき。

**答** 駅前再生に関する情報を市民に的確にお知らせすることは、大変重要なことだと考えている。こういった公共公益複合施設的设计概要など、今後ホームページなどにおいて情報発信をしていきたい。

### 空き店舗の解消と補助制度の拡充

**問** 「江津市地域商業活性化支援事業」の補助制度の利用状況は。

**答** 空き店舗活用を支援する「江津市地域商業活性化支援事業」については、中心市街地などの空き店舗を新たに活用し、商業を行う場合にその改装費と家賃について一定の補助を行うもの。

最近3カ年の実績は、平成23年度が2件、平成24年度が5件、平成25年度が7件、合計14件。そのうち江津駅前地区における採択実績は、平成23年度が0件、平成24年度は5件、平成25年度が5件、合計10件となっている。

**問** 新規創業や立ち退きによる移転が増加し、江津駅前地区の空き店舗は少なくなっている。大きな修繕が必要となる物件は、初期投資が必要な状況。現在の補助制度の拡充により空き店舗の早期解消と、新規出店を促す考えは。

**答** 江津駅前地区の新規出店数も順調に推移していることから、現状以上に制度を拡充する考えは現時点ではない。一方で、中心市街地活性化基本計画が国の認定を受けた場合には、共同店舗の建設など基本計画に位置付けられた民間事業に対して、国から直接の支援を受けることも可能であり、こうした制度も視野に入れながら新規出店の促進を図っていきたい。

### 複合施設を活用したソフト事業は？

**問** 具体的なソフト事業が見えてこないこともあって、複合施設がはたす役割が分かりづらくなっているのではないかと。民間が主体となって進めるソフト事業、どのような活動を想定または期待しているか。

**答** 魅力的なソフト事業を展開することで、市民の自主的で生き生きとした活動の場を提供するとともに、来訪者相互の交流を促し、本市の活性化を図ることが求められている。施設を運営する各種団体や商店会などが強みを活かしながら連携し、より多くの市民の参加を呼び込む取り組みが行われるよう官民一体となって検討していきたい。

### 国の活性化計画認定のメリットは？

**問** 中心市街地活性化計画が内閣総理大臣の認定を受けることのメリットと効果は。

**答** 基本計画に基づく取り組みや事業について、公共公益複合施設整備などの財源となっている都市再生整備計画事業における交付金のかさ上げや、主に民間事業者などが対象となる補助金の活用など予算面での支援措置のほか、法律や税制面においても重点的な支援を受けることができる。

### 江津本町地区との連携が必要！

**問** 歴史的・文化的に価値の高い街並みが残る江津本町地区と中心市街地との密接な連携が必要。連携の考えは。

**答** 天領江津本町藁街道をはじめとする赤瓦を使った歴史的町並みが残っている街であり、観光資源としてレンタサイクルの活用など駅前ゾーンとの連携を図り活性化につなげたい。

### 経産省中国経産局との人事交流を！

**問** まちづくりやものづくり、中小企業支援・産官学連携、企業立地などの幅広い分野について所管し、政策の指導・推進を行う、中国経済産業局との人事交流により産業振興政策をはじめとする本市の直面する課題の解決を。

**答** 有効な手法の一つと考える。人事交流や派遣については、中心市街地活性化を推進し、産業振興政策のみならず、多くの行政課題解決の手法の一つでもあり、また人材育成の観点からも必要と考える。総合的に判断し、人口竜が有効と判断した時には、幅広い観点から検討していきたい。